

# 2007 年度活動報告

## 【インド研修】

### <活動内容>

- ・ マザーテレサハウスでのボランティア
- ・ 現地家庭へのホームステイ

### <思い出>

コルカタにあるマザーテレサハウスの Daya Dan (ダヤダン) という障害をもつ子供がいる施設でボランティア活動をしてきました。洗濯や施設内のお掃除をしたり、子供たちと遊んだり、食事の補助やリハビリのお手伝いをしました。ホームステイでは、ホストファミリーが、拙い英語しか喋れない私をととても暖かく向かい入れてくれ、家族の一員のように接してくれました。お母さんとおばあちゃんが毎日作ってくれる色々な種類のカレーとチャパティ(薄くて手のひらサイズのナンのようなもの)の美味しさは今でも忘れられません。



また、ゼミ生数人でボランティア活動に行く際に、バスを乗り間違えて迷子になってしまいタクシーで孤児院まで行った際、後でだいぶぼったくりにあっていた事が判明した体験(それでも日本のタクシー料金より全然安いし、目的地に着けたあの安心感は何物にも代え難い!!)や、インドの水が合わず、ずっとお腹を壊し続け約3週間のインド研修で7kg 痩せて帰国したのは今ではいい思い出です。

また、ゼミ生数人でボランティア活動に行く際に、バスを乗り間違えて迷子になってしまいタクシーで孤児院まで行った際、後でだいぶぼったくりにあっていた事が判明した体験(それでも日本のタクシー料金より全然安いし、目的地に着けたあの安心感は何物にも代え難い!!)や、インドの水が合わず、ずっとお腹を壊し続け約3週間のインド研修で7kg 痩せて帰国したのは今ではいい思い出です。

### <勉強になったこと>



インドに行って一番感じたことは、いかに日本での生活が幸せかという事です。それまで障害のある方とあまり深く関わらずに生きてきた上、もちろん専門知識もない私にとって、ダヤダンでのボランティア活動の経験はとても勉強になりました。ダヤダンにいた子供たちは皆元気で可愛く、目をキラキラさせた笑顔を浮かべる彼らを見ていると、親も居て何もかも揃った日本で不自由なく惰性で生きてきた当時の私は、これからの自分の生き方をしっかりと考えなければと思ったことを覚えています。

## 【関ゼミの魅力】

何と言っても関ゼミの魅力は関先生だと思います。関先生の明るい性格と若干の変わり者感、そしてあのアットホームな研究室の雰囲気。当時のメンバーにも恵まれ、とても居心地の良いゼミでした。他の授業は何度もサボりましたが、関ゼミへの参加を苦に思ったことはなかったです。大学生活を思い返すと、いい意味で関先生が一番先生っぽくない先生でした。



## 【ページ作成者】



- ・根本 佳祐 (2009年度卒)
- ・学部：経営学部経営学科
- ・職業：アサヒプリテック株式会社 貴金属事業部デンタル G 営業職

### <現ゼミ生へのメッセージ>

今、思い返すと大学生活の4年間は、何にでも挑戦出来るとても貴重な時間であったと思います。社会人となり、結婚をして家庭を持った今、あんなに自由で可能性に満ち溢れた時間はそう簡単に作れないと思います。そして自分はなぜもっと有意義に使えなかったのかと後悔しています。ぜひ皆さんには僕のような後悔をしないよう、関先生の下で色々な事にチャレンジして欲しいと思います。